

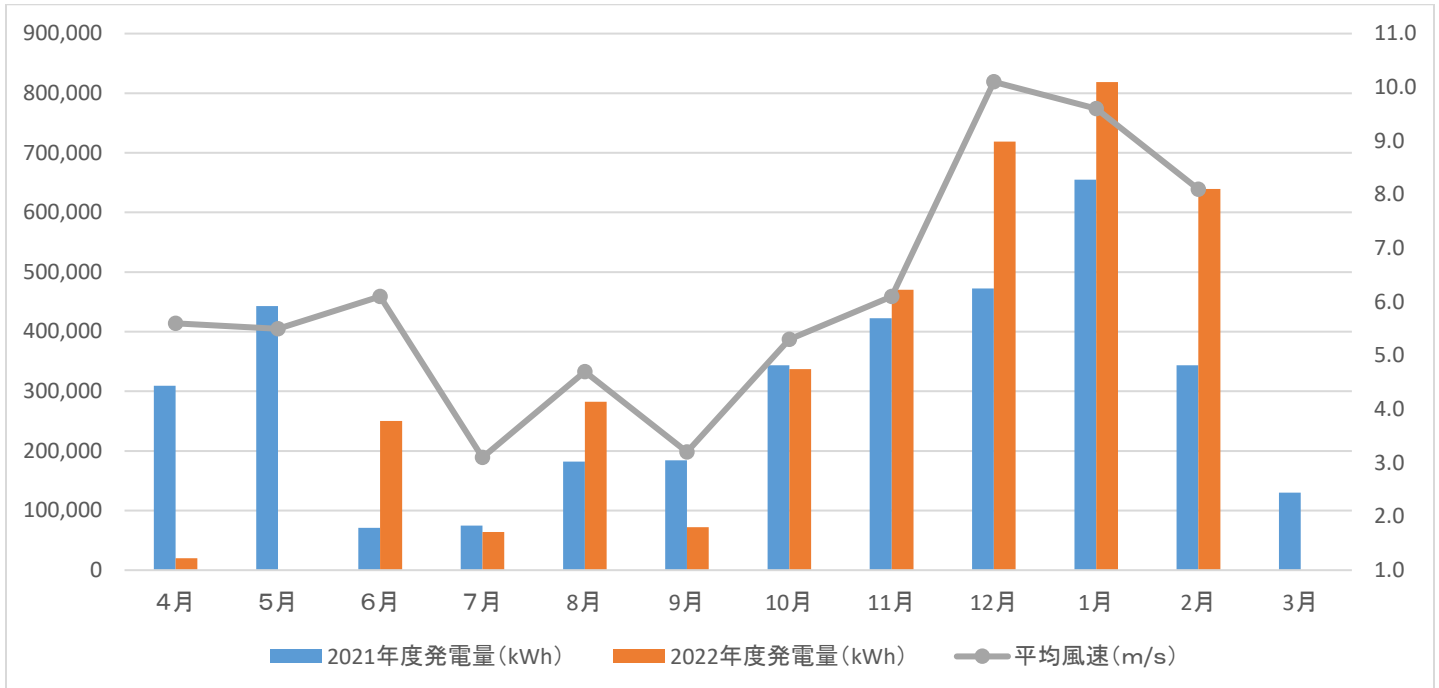
秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-4-14FORCAST 人形町 PLACE8 階

一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩（代表理事） 編集責任者 鈴木伸予

○ 2022 年度発電実績



1月度運転状況について

○風況は前年同月に比べ、0.8m/s 低い実績でした。

○1月も風況が良く、順調に稼働したことから、発電量は80万 kWhを越え、設備利用率も55.3%と高くなっています。

2月度運転状況について

○風況は前年同月に比べ、1.7m/s低い実績でした。

○2月も順調に稼働しました。

○前年度は増速機故障の為、強風時に稼働を押さえていた為発電量が低く、前年比は大きくなっています。

2/4にかほ市で「掛魚まつり」開催

秋田県にかほ市金浦地域で300年以上続くとされるタラの奉納行事「掛魚（かけよ）まつり」が4日、金浦山神社で行われました。漁業関係者らによる奉納行列は新型コロナウイルス対策で今年も中止となりましたが、重さ10～13キロほどのタラ11匹がささげられ、地元住民らが海上の安全や豊漁を願いました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	20,059	5.6	1.4
5月	0	5.5	0.5
6月	250,123	6.1	50.6
7月	64,236	3.1	97.7
8月	282,283	4.7	99.7
9月	72,029	3.2	84.7
10月	336,975	5.3	97.6
11月	470,340	6.1	99.5
12月	718,769	10.1	88.2
1月	818,916	9.6	99.3
2月	639,580	8.1	99.1
3月			

グリーンファンド秋田理事会報告

2月9日、第3回グリーンファンド秋田理事会を開催しました。

主な議案は、第3四半期決算報告、グリーンファンド秋田2022年度活動報告と2023年度方針案、2023年度事務局リーダー研修開催計画、にかほ市での子ども向け環境プログラムの実施、デポーにかほフェア実施計画、新增速機の部品交換と保険求償の進捗、東日本復興まつり参加報告です。

決算報告では、4月～12月の売電売上は、増速機の交換工事の影響で計画比92%、前年比89%となりました。東日本大震災復興まつりでタラメン300食を販売し、15,749円を被災地支援団体に寄付することができました。

デポー・ワーカーズコレクティブ担当者研修を開催しました

1/20(金)21(土)デポー担当者研修を首都圏4単協のデポーワーカーズなど13名の参加で、にかほ市にて開催しました。

1/20(金)、生活クラブ風車「夢風」の見学を行いました。(株)市民風力発電の渡邊さん、高橋さん、坂本さんに風車のタワー内部と変圧室の説明を頂きました。風車は、強い風を受け力強く回っていましたが、参加者からは、「想像以上に音がせず、海が見え空が広く開放的だと思った。間近でみる風車は圧巻でした。」という感想がありました。



風車タワー内部: 中央奥 坂本さん



変電所: 中央 高橋さん

次に、にかほ市役所を表敬訪問し、本田雅之副市長、佐藤喜仁企画調整部部長、高橋潔さん(生活クラブ担当)にご挨拶を頂き、生活クラブとの取り組みやにかほ市の状況についてお話を頂きました。(写真:次ページ)

つづいて、芹田自治会にて、前自治会長の荒川定敏さんよりご挨拶を頂いた後、ちょうど前日1/19にNHK秋田ニュースこまちで生活クラブとにかほ市の取り組みが放送された録画を視聴しました。その後、半澤代表理事より「生活クラブ風車「夢風」を契機とした地域間連携の取り組み～地域と共生するにかほ風力発電事業～」と題したお話をお聞きし、意見交換を行いました。参加者からは、「生活クラブと地元の方々との人間関係が営利企業にない良い関係築け、さらに消費材開発につながり地域密着型でいいと思った。地元の皆さんとBBQ交流会を開催した写真が印象的だった。」という感想がありました。



日南工業(株)

1日目の最後は、夢風ブランド品「鱈しょっつる」の日南工業株式会社を訪問しました。前田和雄代表取締役より、「鱈しょっつる」、味噌、醤油の製造についてお話を頂いた後、「鱈し

よつつる」の醸造を見学させていただきました。参加者からは「魚醤のイメージが変わった。いろいろな料理に試して、組合員に伝えたい。」との感想を頂きました。

1/21(土)は、低気圧が通過し雪景色となりました。にかほ市では初雪とのことです。

はじめに、夢風ブランド品「はたはたおいる漬け」の三浦米太郎商店さんを訪問し、会長の三浦悦朗さんに工場や会社の説明を頂きました。昨年秋田のハタハタの水揚げが激減し、他の産地から原料を仕入れて製造しており、大変苦勞をされているとのことです。

つづいて、夢風ブランド品「タラーメン」の伊藤製麺所を訪問し、代表の伊藤実さんに説明を頂きました。季節により麺の乾燥の湿度調整をされているとの事です。参加者からは「私たち組合員と話をすることで生活クラブの自主基準に沿ったものを開発したり、とても刺激になると話されていて感激した。「組合員の声ありがたい」という伊藤さんのコメントが社交辞令で無いことが対面でお話を聞く事で伝わってきました。」との感想がありました。

デポーにかほフェアにつながる研修となりました。



三浦米太郎商店:中央 三浦悦朗さん



伊藤製麺所:伊藤実さん



にかほ市の表敬訪問の様子: 前列中央 本田副市長、後列 右から2人目高橋さん、3人目佐藤部長

デポーにかほフェア開催報告

2/20～26 生活クラブ首都圏4単協のデポーにかほフェアが開催され、にかほ市や秋田の特産品 23 品目を販売しました。2/23～25 の期間にかほ市より生産者が来所し、首都圏のデポーで組合員と一緒ににかほの物産のアピールを行い、組合員との交流をすすめました。来所された方は、(有)三浦米太郎商店代表取締役三浦大輔さん、伊藤製麺所代表伊藤実さん、日南工業(株)代表取締役久野宏さんと営業の加賀純平さん、四つ葉ネットワーク池田千鶴子さん、(株)岡永営業部臼倉克典さん、芹田自治会会長渡邊京一さん、元会長荒川定敏さん、にかほ市役所総合政策課高橋潔さんの9名です。

2/23(木)は、千葉単協のデポー真砂、木刈、新松戸に生産者が分かれて来所しました。真砂デポーでは、日南工業さんと共同開発した夢風ブランド品の「鱈しょつつる」の試食を行いました。組合員が用意した「鱈しょつつる」を50倍に薄めて、ごま油少々を加え細葱を散らしたスープは、美味しく簡単で、大好評でした。また、純米大吟醸夢風の試飲では、飲みやすくて美味しいと好評でした。



デポー真砂 写真:左 渡辺芹田自治会長、右 荒川元自治会長

2/24(金)は、東京単協のデポーせたがや、国領駅前、石神井、国分寺、埼玉単協のデポー越谷、浦和、所沢に来所しました。デポーせたがやでは、伊藤製麺所と共同開発した「タラーメン」と甘酒の試食を行い、組合員とワーカーズと一緒にアピールしました。デポー所沢では、風車夢風の模型も登場し、にかほの物産と生活クラブでんきのアピールを行いました。



デポーせたがや



デポー所沢



南林間デポー

2/25(土)は、神奈川単協の宮前平デポー、つなしま、南林間、せやに来所しました。宮前平デポーでは、三浦米太郎商店と共同開発した「はたはたおいる漬け」のおにぎりに試食を組合員と共にアピールし、好評でした。南林間デポーでは、「タラーメン」と「甘酒」の試食を行い、おおぜいの組合員と共に、にかほの物産と生活クラブでんきをアピールしました。

デポーにかほフェアの生産者来所は、3年ぶりの実施となりました。にかほ市の生産者の中には、初めての方も多くいらっしゃいましたが、実際に生活クラブの組合員やワーカーズと合うと、すぐに溶け込んで、物産やにかほの話をお互いに熱心にされていました。やはり、実際に会う事はお互いの距離を縮め、信頼関係を強めるという事を改めて感じる機会となりました。



2/24 首都圏4単協自然エネルギー推進PJ主催の交流会(生活クラブ東京)